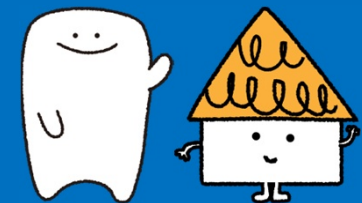


株式会社サンセイランディック

2020年12月期第1四半期
決算短信補足資料

2020年5月15日



2020年12月期第1四半期トピックス



- 第1四半期の業績においては新型コロナウイルスの影響はなく、売上・利益ともに計画及び前年同期を上回る
- 不動産販売事業における、居抜き及び所有権の割合が8割を占めたため、利益率は低下したものの、計画は上回る
- 仕入高46億15百万円（前年同期比+85.8%）

新型コロナウイルスに対する弊社の取り組み



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後もフレキシブルに行動して参ります。

| お取引先様への対応 | 従業員への対応 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・マスク着用等、訪問時の感染対策の徹底・電話及びオンラインミーティングの実施・集客スタイルで行うセミナーの開催及び参加の自粛・会食、懇親会の開催及び参加の自粛 | <ul style="list-style-type: none">・全従業員へのマスクの支給・テレワークの導入・やむを得ず出勤する場合は時差出勤を実施するとともに、出勤体制を2班に区分し、社内外での他の班との接触を全面禁止・出張の自粛・自宅用パソコン、プリンター等の貸与・テレワークでの業務効率改善等を目的とした全従業員へのアンケート調査実施 |

新型コロナウイルスに対する現時点での事業への影響と対策



| 事業 | 影響 | 対策 |
|------------------|---|--|
| 不動産販売事業（底地） | <ul style="list-style-type: none"> ・情報入手先の営業活動の自粛により案件数が減少 ・販売先の要望に応じて対面での販売交渉を控えることにより、販売活動に遅延が発生 ・測量業務の遅延により、販売活動に遅延が発生 | <ul style="list-style-type: none"> ・電話等、対面以外での交渉を可能な限り行い、販売活動の遅延をカバーする ・資金確保のため、昨年より実施している底地の資金化を継続 |
| 不動産販売事業（居抜き、所有権） | <ul style="list-style-type: none"> ・情報入手先の営業活動の自粛により案件数が減少 ・居抜きにおいて、借家人の要望に応じて対面での明渡交渉を控えることにより、明渡業務に遅延が発生 ・市況の不透明感から販売先の購入見合わせや価格目線の低下が発生 | <ul style="list-style-type: none"> ・電話等、対面以外での交渉を可能な限り行い、居抜きにおける明渡業務の遅延をカバーする ・資金確保のため、物件によっては査定時よりも利益率を落としての販売も検討 ・仕入査定時の販売先の検討について更なる厳格化を実施 |
| 建築事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約を見合わせる顧客も一部発生 ・顧客の要望に応じて商談の延期や対面での商談を控えることにより、商談に遅延が発生 | <ul style="list-style-type: none"> ・確度の高い顧客への営業に注力し、受注を確保 ・電話等、対面以外での商談を可能な限り行い、商談の遅延をカバーする ・WEBマーケティングの強化を継続 ・期首繰越工事の施工管理を徹底し、利益の確保に努める |

業績動向



(単位:百万円)

| | 18/1Q | 19/1Q | 2020/1Q | | |
|-------|-------|-------|---------|-------|------|
| | 実績 | 実績 | 計画 | 実績 | 差異 |
| 売上高 | 2,873 | 1,925 | 4,605 | 4,807 | +202 |
| 売上総利益 | 734 | 579 | 836 | 942 | +105 |
| 販管費 | 676 | 696 | 818 | 792 | 25 |
| 営業利益 | 58 | 116 | 18 | 150 | +131 |
| 経常利益 | 30 | 146 | 19 | 103 | +123 |
| 当期純利益 | 3 | 111 | 9 | 67 | +77 |

売上高

前年同期比+149.7%

売上総利益

前年同期比+62.6%
居抜きと所有権の販売が増加したことにより、利益率は低下

販管費

前年同期比
販売手数料：+54百万円

連結貸借対照表サマリー



(単位:百万円)

| | 19/12期 | 20/1Q | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|
| | 金額 | 金額 | 前期末比 | 増減率 |
| 現金及び預金 | 4,133 | 3,635 | 498 | 12.0% |
| 販売用不動産 | 13,493 | 14,655 | + 1,162 | + 8.6% |
| 有利子負債 | 7,202 | 8,683 | +1,480 | +20.6% |
| 純資産 | 9,894 | 9,776 | 118 | 1.2% |
| 総資産 | 19,293 | 20,004 | +710 | +3.7% |
| 自己資本比率 | 51.3% | 48.8% | 2.5pt | |

販売用不動産

仕入が順調に進み、増加

2019年1Q仕入高：24億83百万円

2020年1Q仕入高：46億15百万円

有利子負債

短期借入金：+718百万円

仕入増加及び運転資金借入による増加

事業別販売実績



(単位:百万円)

| | 18/1Q | 19/1Q | 20/1Q | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 実績 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画比 |
| 不動産 販売事業 | 2,757 | 1,576 | 4,062 | 4,339 | +6.8% |
| 底地 | 611 | 1,086 | 880 | 719 | 18.3% |
| 居抜き | 725 | 351 | 1,743 | 2,180 | +25.0% |
| 所有権 | 1,322 | 28 | 1,312 | 1,305 | 0.5% |
| その他 | 99 | 110 | 125 | 133 | +6.4% |
| 建築事業 | 115 | 349 | 542 | 468 | 13.7% |

底地

販売が2Q以降の見込みとなった物件があり、売上・利益ともに計画未達

居抜き

西日本エリアで物件の前倒しでの販売があり、前年を大きく上回るとともに計画も上回る

所有権

ほぼ計画通りに進捗

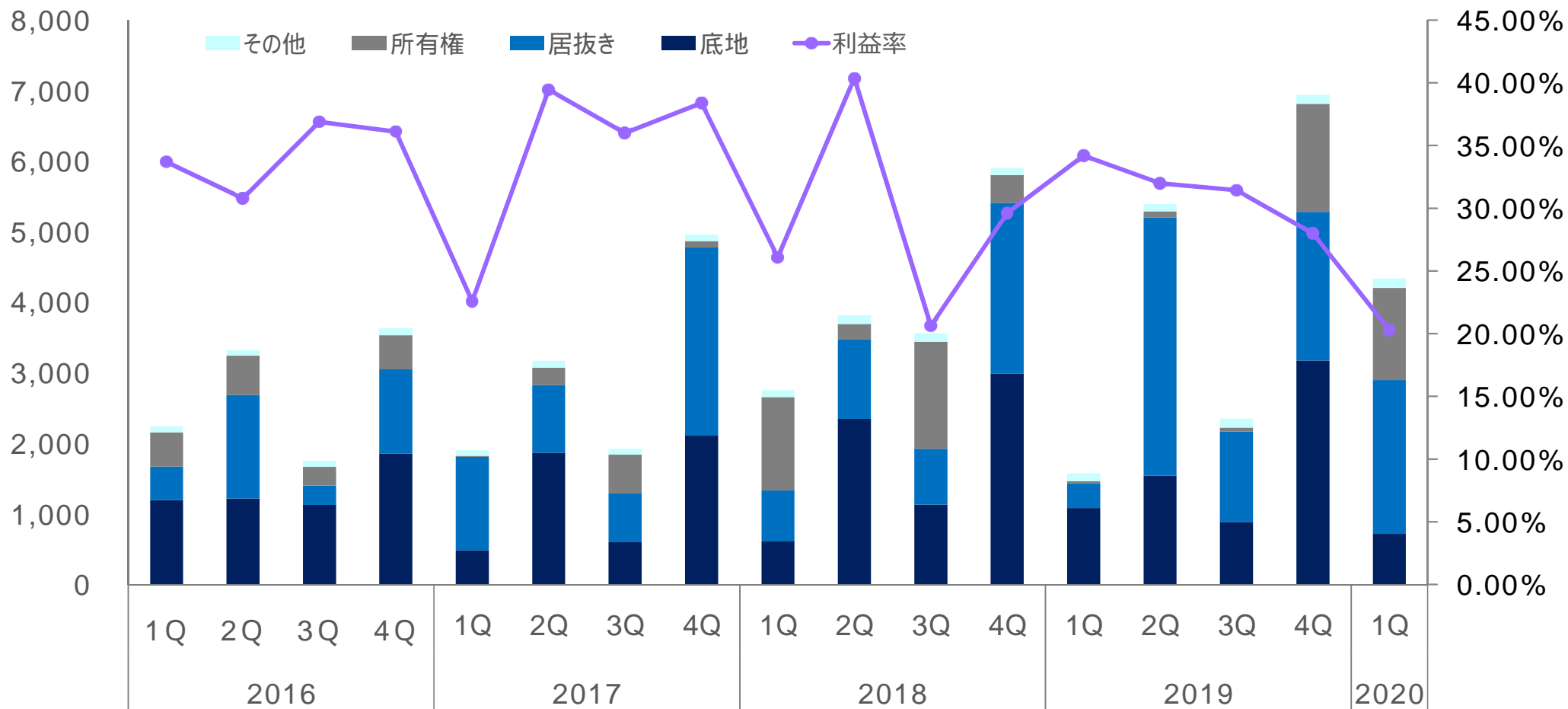
建築事業

売上、利益ともに計画未達となるも、期首繰越工事の増加により、売上高 前年同期比+34.1%

不動産販売事業 四半期推移表



売上高(百万円)



事業別仕入・受注実績



(単位:百万円)

| | 18/1Q | 19/1Q | 20/1Q | |
|---------------|-------|-------|-------|----------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 前年同期比 |
| 不動産 販売事業 | 2,318 | 2,483 | 4,615 | + 85.8% |
| 底地 | 1,093 | 825 | 1,824 | + 121.1% |
| 居抜き | 1,045 | 1,617 | 1,402 | 13.3% |
| 所有権 | 180 | 41 | 1,388 | — |
| 建築事業 (受注高) | 288 | 1,135 | 288 | 74.6% |

不動産販売事業

年間仕入高計画 142億円

底地は西日本エリア、所有権は関東
エリアにて仕入が増加

建築事業

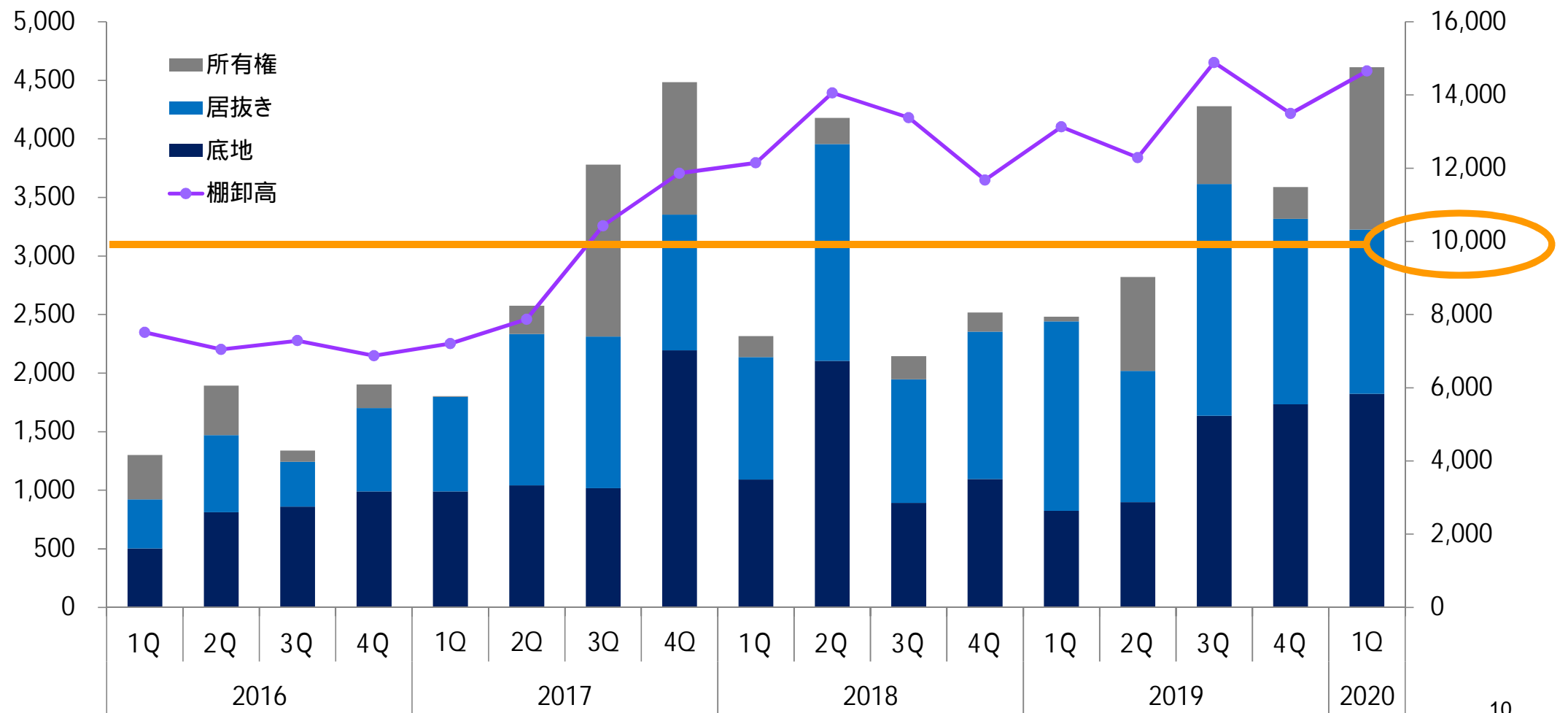
前期1Qは消費増税前の駆け込み需要
があったことにより、受注減少

仕入高・棚卸高推移表



仕入高(百万円)

棚卸高(百万円)

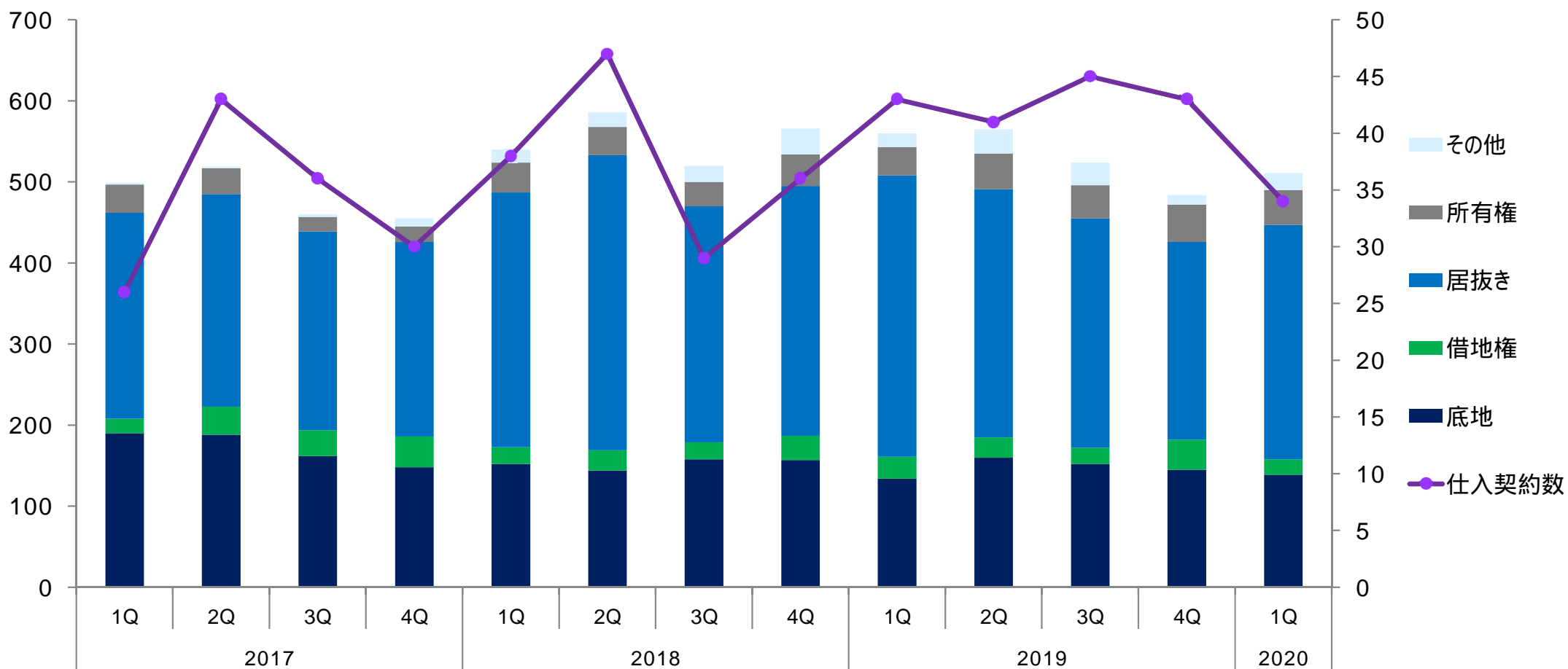


案件数・仕入契約件数動向



案件数(件)

仕入契約件数(件)



2020年12月期業績予想について



(単位:百万円)

| | 2020/12期 | 20/1Q | |
|-------|----------|-------|-------|
| | 業績予想 | 計画 | 実績 |
| 売上高 | 21,552 | 4,605 | 4,807 |
| 営業利益 | 1,686 | 18 | 150 |
| 経常利益 | 1,559 | 19 | 103 |
| 当期純利益 | 1,047 | 9 | 67 |

業績予想について

当第1四半期連結累計期間の業績は計画を上回っているものの、2020年2月14日に発表した業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による弊社グループの事業への影響を加味しておりません。

第2四半期以降、弊社グループの事業に影響が出始めておりますが、不確実な要素も多く、その影響を現時点で正確に算出することが困難であるため、業績予想を変更しておりませんが、今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

お問い合わせ先



この資料に記載されている、当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定及び判断などのうち、すでに確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。

将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があり、これら業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。

本資料に記載されたデータは、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

問合せ先
株式会社サンセイランディック 経営企画室
TEL : 03-5252-7511
E-mail : keiki@sansei-l.co.jp

